

平成27年度

社会福祉法人ほどがや事業報告

ほどがや地域活動ホームゆめ

放課後等デイサービス事業ゆめっこらぶ

放課後等デイサービス事業ゆめっこつか

放課後等デイサービス事業ゆめキッズほどがや

横浜市移動支援事業ゆめヘルプステーション

障がい者後見的支援事業ほどがやゆめあん



■施設の概要■

□住所□ 横浜市保土ヶ谷区神戸町140番2

□電話□ 045-340-3360 ファクス 045-334-0462

※その他、関連事業所の連絡先は、別途記載

□規模□ 敷地面積:1,276 m²/建築面積:821 m²/駐車場部分:455 m²

1階:754 m²/2階:664 m²/3階:277 m²/地下:55 m²

延べ床面積 1,750 m²

■事業の経緯■

年月日	内容/背景	備考
平成16年2月25日	社会福祉法人ほどがや設立 代表 理事長 吉田 昌美	※法人設立
平成16年10月1日	ほどがや地域活動ホームゆめ 相談事業開始 保土ヶ谷神戸町 140-2 Tel333-8611	※活動ホーム ゆめ事業開始
平成16年11月1日	ほどがや地域活動ホームゆめ(全事業開始) 知的障害者デイサービス事業 定員20名 身体障害者デイサービス事業 定員20名 生活支援事業 一時ケア(5名程度)/ショートステイ(4床) おもちゃ文庫、余暇支援、地域交流事業他 保土ヶ谷神戸町 140-2 Tel340-3360	
平成18年4月1日	(支援費制度に伴い) 指定障害者デイサービス事業定員40名	知的・身体デ イサービス事 業より変更
平成18年10月1日	(障害者自立支援法に伴い) 経過的デイサービス事業 定員40名	障害者デイサ ービス事業よ り変更
平成19年4月1日	(障害者自立支援法へ移行に伴い) 指定相談支援事業 指定生活介護事業 定員40名 地域活動支援センター(デイサービス型)定員10名	※1:その他、 災害備蓄、運 営委員会

	<p>生活支援事業</p> <p>一時ケア(5名程度)／ショートステイ事業(4床)</p> <p>おもちゃ文庫、余暇支援、地域交流等※1</p> <p>区づくり事業 (保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業)</p> <p>保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業</p> <p>保土ヶ谷区人材育成事業※2</p> <p>重心ケア研修／ケアマネジメント研修</p> <p>社会福祉法人型地域活動ホーム型自主事業</p> <p>一時ケア定期送迎事業(保土ヶ谷養護学校便等)</p>	※2:事業の内容は年度ごとに変わる
平成20年8月18日	<p>障害児放課後預かり</p> <p>ゆめっこくらぶ試行事業開始</p>	プレ自主事業
平成20年10月1日	<p>横浜市障害児居場所づくり事業決定</p> <p>ゆめっこくらぶ定員10人未満型事業開始</p> <p>保土ヶ谷区天王町 1-11-1 ダイヤビル 3F4FTel334-5208</p>	
平成21年10月1日	<p>横浜市移動支援(ガイドヘルプ)事業</p> <p>ゆめヘルプステーション事業開始</p> <p>保土ヶ谷区神戸町 140-2 Tel340-3360</p>	
平成22年3月1日	<p>横浜市障害児居場所づくり事業決定</p> <p>ゆめことつか定員10人未満型事業開始</p> <p>戸塚区品濃町 510-4 ネオポリストキワ 8 Tel824-0670</p>	
平成22年5月1日	<p>児童デイサービス(多機能型児童デイⅡ)事業認可</p> <p>ゆめキッズほ도가や10人未満型事業開始</p> <p>保土ヶ谷区峰岡町 3-332 パレットビル 1F Tel336-9192</p>	
平成22年10月1日	<p>横浜市障害者後見的支援事業</p> <p>障がい者後見的支援室ほ도가やゆめあん</p> <p>保土ヶ谷区星天王町 1-17-3 コーホメイブル 1F</p> <p>Tel331-9537</p>	
平成24年7月1日	<p>特定相談支援事業開始</p>	

平成24年10月1日	障害児居場所事業所ゆめっこつかを放課後型デイサービス事業に移行(定員10名)	
平成25年4月1日	障害児居場所事業所ゆめっこらぶを放課後型デイサービス事業に移行(定員10名) 指定障害児相談支援事業開始	
平成28年4月1日	横浜市移動支援事業 ゆめヘルプステーション 移転 保土ヶ谷区星天王町1-17-3 コーポメイト 1F Tel442-6646 相談室(分室)設置 保土ヶ谷区星天王町1-17-3 コーポメイト 1F Tel442-3614	

■職員の体制■

(平成28年4月1日時点)

雇用形態内訳	数	備考(資格など)
常勤	31	社会福祉士、介護福祉士、保育士、社会福祉主事など
非常勤(日給制)	7	看護師、介護福祉士、ヘルパー2級など
非常勤(時給制)	36	看護師、ヘルパー2級、教員免許所持者など
総計	74	

職員体制について

平成27年度採用は、常勤職員は生活介護職員で男女各1名、非常勤職員も生活介護職員で女性を1名採用しました。

その後、後見事業のサポーターの更新契約に至らなかった非常勤が数名、また担当職員の交代もあり、日中活動職員から異動を行いました。

その関係もあり、常勤職員を2名とパート・非常勤(日給制)職員の募集を募り、2名の職員を補充しました。

他に平成28年度に基幹相談支援への移行により、非常勤で1名採用する事になりました。

1 相談支援事業

1-1 登録状況について

① 住区別登録状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	保土ヶ谷	旭	戸塚	西	神奈川	南	泉	瀬谷	その他	合計
27年9月	663	133	81	53	34	27	16	14	43	1,064
28年3月	677	135	85	54	36	27	16	14	45	1,089
新規数	14	2	4	1	2	0	0	0	2	25
新規%	56	8	16	4	8	0	0	0	8	100
全体%	62	13	8	5	3	3	1	1	4	100

ゆめの登録者は累計で 1,000 人を超えましたが、月々の登録件数は数件程度となっています。登録の中に緊急ショートステイに関わるものが数件ありました。

② 年齢別登録状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	18 歳未満男	18 歳未満女	18 歳以上男	18 歳以上女	合計
27年9月	401	217	261	185	1,064
28年3月	412	221	267	189	1,089
新規数	11	4	6	4	25
新規%	44	16	24	16	100
全体%	38	20	25	17	100

統計から、児童の登録者が比較的多く、未就学児の方も数名いました。また男女比では7割の方が男性でした。

1-2 相談件数について

① 相談経路別件数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	来所相談	訪問相談	電話相談	同行	合計
相談合計	180	105	175	89	549
全体%	33	19	32	16	100

平成 27 年度は、精神の方からの電話相談が多く、統計には現われていませんが、日々の体調面等の傾聴するものが多くありました。

② 障害種別 ※主たる障害でカウント

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	身体	知的	精神	発達障害等	申請中他
相談合計	73	366	29	50	31
全体%	13	67	5	9	6

特定の児童の不登校支援などが継続してあった為、発達障害の数字が大きくなりました。

③ 相談内訳

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	就 労 相 談	権 利 擁 護 ・ 緊 急 登 録	視 覚 障 害 者 支 援	自 施 設 相 談	ピ ア カ ン	家 族 ・ 健 康	経 済 ・ 金 銭	趣 味 ・ 余 暇	そ の 他	社 会 資 源	関 係 調 整
相談合計	0	1	0	327	0	53	0	0	25	138	186
全体%	0	0	0	45	0	7	0	0	3	19	26

相談の内訳は、ゆめの登録者からのものが多いです。登録者以外の方は、それぞれ相談員が受け持ちをして、対応しました。

④ 計画相談

計画相談件数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
成人(新規)	3	4	4	4	4	3	2	4	5	4	3	3	43
成人(継続)	3	6	8	4	3	5	5	6	7	7	9	6	69
児童(新規)	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	7
児童(継続)	1	1	2	1	0	3	0	3	2	3	1	1	18
	7	12	14	9	7	11	7	15	15	14	13	13	137

平成 26 年度期実績 総数 149 件

計画相談の成人においては、ゆめの通所者を中心に行ってきました。児童は法人内の新規利用の方、区役所からの相談ケースを行いました。利用者の方も計画相談の意識を少しずつ持つて頂くことが出来ました。

■相談支援事業についてのまとめ■

登録状況としては、平成 26 年度から月数件程度となっています。平成 27 年度にあったケースとして、発達障害の児童が不登校になり、相談を受けたものがありました。現在も継続していますが、学校、児童相談所、他地活と連携をして学校に行けるようになりました。他にも中学入学後に不登校になったケースなど児童に関わる相談が多くありました。

また自立支援協議会を通して地域との交流を深められるように学校関係や地域の社会福祉協議会とも継続して連携を図りました。

1-3 相談支援関連事業について

○保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業

実施日	参加者	内容
7/22	58名	光風会 浜走施設長による「人権について」講義
2/10	48名	上菅田地域ケアプラザ 雲居所長による「人権について」グループディスカッション

平成 27 年度は、年間を通じて「人権」をテーマに講義式とディスカッション方式で研修会を行いました。人権について多くの方が興味を示して参加して頂きました。

○しゃべる～む

平成 27 年度は、体調不良で長期に休まれる利用者もいましたが、年間延べ 50 名程度となりました。参加された方は、率先して次回の申し込みをされるなど有意義に利用されていると感じました。

○自立支援協議会

平成 26 年度に引き続き顔の見える関係作りをメインに多くの機関に参加して頂きました。また計画相談部会が正式に出来て、様々な情報交換を行いました。他にも制度の説明会として「計画相談と就労B型について」、防災研修「災害時の施設責任について」と部会以外にも研修を開催しました。

(防災部会)

地域連携分科会では、社協と連携しながら出前講座を実施したり、防災ニュースを発行する等の啓発活動を行いました。

防災訓練分科会では、グループホームの訓練を中心に行い、地域との交流が図れるように取り組みました。

(住居部会)

管理者分科会では、2年間かけて課題抽出してブロック会議に課題報告までになりました。
まちで暮らす分科会では、サテライトをテーマに実践の取り組みと勉強会を行いました。

(情報部会)

事例検討分科会では、各事業所より持ち寄ったケースを基にグループで話し合いました。
発信分科会では、ホームページの運営を行い、多くの方に見て頂く為、フェイスブックの運用も始めました。

(当事者部会)

区役所のロビーを使った自主製品販売(スマイルガーデン)、イオン天王町店での店頭販売を行い、月1回「販売促進会議」を行いました。
他に区役所での作品展を初めて行いました。
ほっとらんどでは、西谷地区センターでの喫茶業務、当事者と一緒に運営しているカラオケ大会を行いました。

(こども部会)

フレンドサポート実行委員会で障害児余暇の取り組みをしました。また事例では、障害者支援センターの方を招いて「放課後等デイサービスの現状」について講義を行い、関心を持たれた多くの先生が参加されました。

(計画相談)

実施している事業所の情報交換や興味がある方の勉強会と2つに分けて運営。

○計画相談

指定特定では、ゆめ利用者中心に月2、3名の方の計画相談を行いました。累計で50名程度になりました。

障がい児相談支援では、新規で法人内の放課後等デイサービスを利用する方、また区役所から紹介された方など、ゆめを登録していない方も対応しました。

同時に啓発活動として、自立支援協議会に部会を設置したり、個別に事業所に啓発を行いました。

1-4 事故・ひやりハット・苦情クレーム報告について

事故・ひやりハット・苦情クレーム別の件数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	2	0	7	2	1	4	1	0	4	2	2	1	26
ひやり	14	16	17	10	9	7	7	12	11	5	7	12	127
苦情	1	0	1	1	0	3	0	1	0	3	0	0	10
合計	17	16	25	13	10	14	8	13	15	10	9	13	163

26 年度実績 総数 183 件 事故 43 件 ひやりはつと 130 件 苦情クレーム 10 件

平成 26 年度と比較して、総数は 163 件と 20 件の減少で推移し、事故事例、ひやりハット事例、苦情事例全てが減少しました。

① 事故報告事例 (26 件)

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

転落	1	高床からの転落
誤飲	1	シリコン食具の誤飲
自傷	2	不安定時の自傷による怪我、自傷行為による窓ガラスの破損
暴力	1	不安定時の他害に伴う職員の怪我
単独外出	2	活動中の単独外出による把握漏れ、ショートステイ利用時の所在不明
交通違反	2	ガードレールと車両の接触事故、時間指定一方通行道路での違反
その他	17	物品の管理不備(鍵の紛失、現金の紛失、水筒の破損等)8件 職員対応(荷物の入れ違い、体調不良の引継ぎ不備、家族への連絡不備)3件 その他(戸締りの不備、職員の個人情報流出、対応中の職員の怪我、契約不備、利用料の精算ミス)6件

平成 27 年度横浜市へ報告した事例は 1 件。ショートステイをご利用されていた児童が窓から外に出て、一時所在不明となったものです。横浜市内で警察に保護され、無事が確認されました。

ケースの引継ぎや対応方法について日々のミーティングや会議にて職員間で周知を徹底すると共に、警報装置の活用や施錠について改めて見直して、再発防止に努めるようにしました。

② ひやり・ハット事例 (128 件)

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

転倒	14	公園での転倒、活動中の転倒、歩行中の転倒、階段での転倒
転落	4	降車時の転落、高床からの転落、発作時の転落、おんぶ時の転落

食事トラブル	1	食数カウント漏れ
誤飲	4	活動中の紙の誤飲、おやつ中の誤飲、ガムの誤飲、活動中の誤飲
自傷	2	自傷行為によるひっかき傷、壁に頭部打ち付け
暴力	18	一般児童への他害、不安定時の他害、他利用者への暴力、他害による怪我、衝動的な他害行為
単独外出	1	活動中の飛び出し
交通事故	1	車両の脱輪
個人情報	4	書類の渡し間違い、職員用メモの置き忘れ、FAXの誤送信、連絡帳入れ違い
その他	79	職員対応(職員間の伝達ミス、把握漏れ、利用者荷物の忘れ物、道路への飛び出し、利用者食具の紛失、荷物の入れ違い、受入ミス)26件 送迎関係(調整ミスによる送迎の遅れ、送迎車の乗車漏れ、送迎時間の把握漏れ、送迎漏れ、送迎時の連絡漏れ、欠席連絡の把握漏れ、車椅子の固定不備、シートベルトの着用忘れ)21件 活動中の受傷(筋緊張による手すりとの接触、入浴時の傷、ボールの接触、窓への指の挟み込み、転倒時のひっかき傷、遊具への接触、ハサミ使用中の怪我、引き戸落下による怪我)10件 医療関係(誤薬、服薬漏れ、薬袋の返却忘れ)4件 物品の管理不備(私物の紛失、おもちゃの破損)5件 事務処理(仮払い申請の誤り、仮払い金の引継ぎ不備)2件 その他(物投げ、喫茶室での火の消し忘れ、利用者同士の接触、車検の期限切れ、対応中の把握漏れ、車両の鍵の閉じ込め等)11件

日中活動、放課後等デイサービス事業所ともに職員間の伝達ミスや把握漏れによる送迎関係の事例が多くみられました。また転倒事例は外出や生活介護の週末など通常時とは異なったプログラムでの事例が半数を占めました。そのため外出時等は特に利用者の行動に各職員が意識して、再発防止に努めるよう会議等で周知しました。

③ 苦情・クレーム事例 (10件)

(平成28年3月31日現在)

運営・管理	1	日中活動のプログラムについて
職員対応	4	職員の対応について、電話の対応について、対応・連絡不備の件
人権侵害	1	連絡帳の継続について
個人情報	1	法人固定電話からの着信の件

その他	3	近隣施設への無断侵入の件、連絡帳の記載の件、喫茶で提供しているランチの件
-----	---	--------------------------------------

職員対応に関するご意見が4件ありました。プログラム、連絡帳についてのご意見が日中活動で3件ありました。

1-5 研修への取り組みについて

研修受講関係の一覧表

研修月	研修内容や主なテーマ	参加者数	備考
4	あんしんマネジャー新人研修	4	
	指定障害福祉サービス事業所説明会	1	
5	安全運転管理者講習	1	
	指定特定相談支援事業者研修	1	
	横浜市 精神保健福祉基礎研修 A 統合失調症・パニック障害・強迫性障害とその他神経症	1	
	食品衛生管理者講習会	1	
6	横浜市 精神保健福祉基礎研修 B 器質性精神障害(主に認知症)・パーソナリティ障害、依存症	1	
	神奈川県知的障害者高齢者問題研究協議会 総会	1	
	地域活動ホーム合同研修会	5	
	横浜の相談支援を考える	1	
7	平成 27 年度神奈川県サービス管理責任者補足研修	2	全2日
	新人内部研修(放課後等デイサービス、事務、移動支援、相談)	2	
	平成 27 年度算定基礎届事務説明会	1	
	平成 27 年度移動支援事業従事者研修	1	全3日
	地域支え合い研修「人権について～事例を通して人権について考える～」	3	
	自立支援協議会 こども部会研修「放課後等デイサービスについて」	1	
8	平成 27 年度神奈川県障害者相談支援従事者初任者研修	2	全6日
	権利擁護指導者養成研修①	1	
	横浜市社会福祉協議会障害者支援センター主催	3	

	「障害のある人と家族のためのあんしんノート書き方講座」		
	災害時要援護者支援事業に関する説明会	1	
9	横浜市障害者施設職員研修会 摂食嚥下障害	1	
	障害者相談支援従事者初任研修 三ツ境養護学校見学	1	
	権利擁護指導者養成研修②	1	
	権利擁護指導者養成研修③ 第二回全体研修会	1	
	あんしんノート書き方講座	2	全2日
10	マイナンバー制度説明会	1	
	医療・保健・衛生等研修会	3	
	横浜市指定障害福祉サービス事業者等集団指導 訪問系サービス	1	
	横浜市指定障害福祉サービス事業者等集団指導 日中活動系サービス	1	
1	平成27年度年末調整・法定調書・給与支払報告書作成説明会	1	
	平成27年度福祉医療機構退職共済制度実務研修会	1	
	平成27年度移動支援サービス従事者 サービス提供責任者研修	1	全2日
12	同行援護従業者養成研修	1	全3日
	防火管理者講習(甲種)	1	全2日
	横浜市 医療・保健・衛生等研修会 自閉症の方への関わり	1	
1	ゆめあん職員向け研修 成年後見制度について	10	
	平成27年度あんしんマネジャー新人研修	5	全5日
	「高山塾」権利擁護シンポジウム	1	
	発達障害者相談基礎研修	1	全2日
	行動援護従業者養成研修	1	全3日
	所長・中堅職員研修会	1	
2	平成27年度あんしんマネジャー新人研修プログラム	5	全12日
	後見的支援制度の概要と実践・手引きについて	1	
	地域ささえあい研修「人権研修」	1	
	障害者差別解消法について	1	
	重症心身障がい児の骨折予防	1	

	地域活動ホーム合同研修会実行委員会 第2回目	1	
	地域活動ホームひかり実習	1	
	第33回神奈川県障害福祉職員実践報告会	3	
	自殺についての知識と対応	4	
	福祉職・支援者が知っておきたいてんかんの基礎知識	1	
3	3機関の話し合いの進め方について	2	
	地域活動ホーム合同研修会実行委員会 第3回目	1	

26年度実績 テーマ別 48件 参加者延べ 89人

平成27年度は延べ93名がテーマ別で53件の研修に参加しました。障害への理解を深める為の研修や、後見的支援事業への取り組みに向けての研修に幅広く参加しました。

2 生活介護事業

(1) 生活介護契約数

(平成28年3月31日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	増減
身体障害	56	56	56	56	56	57	57	59	59	59	59	58	+2
知的障害	87	86	86	87	87	87	87	87	87	87	88	87	0
精神障害	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-1
計	146	144	144	145	145	146	146	148	148	148	149	147	+1

平成26年度実績 身体障害者 55件 知的障害者 86件 精神障害者 3件 計 144件

(2) 生活介護利用実績

(平成28年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	27	22	28	28	25	25	27	25	25	23	26	28	309
身体障害	362	312	372	363	305	326	364	330	337	311	361	378	4121
知的障害	586	488	578	580	501	522	545	494	506	461	507	549	6317
精神障害	16	8	8	9	8	6	3	6	7	7	6	9	93
計	964	808	958	952	814	854	912	830	850	779	874	936	10531

平成26年度実績 稼働日数 310日

身体障害者 4048件 知的障害者 6436件 精神障害者 186件 計 10,670件

(3) 生活介護／曜日別契約数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

曜日別数	月	火	水	木	金	第1土	第2土	第3土	第4土	第1日	第3日	総契約数 (週単)
身体障害	18	22	15	15	18	5	7	6	7	3	5	121
知的障害	24	24	22	25	27	27	23	25	26	16	16	255
精神障害	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
計	42	46	39	42	45	32	30	32	33	19	21	381
26年度末	44	46	41	44	45	31	31	33	32	19	21	387

(4) 生活介護／送迎サービス延利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身障	654	551	655	650	537	571	651	584	610	556	660	681	7,360
知的	604	507	585	575	525	539	565	505	543	479	541	561	6,529
精神	32	16	16	18	15	12	6	12	14	12	12	18	183
計	1,290	1,074	1,256	1,243	1,077	1,122	1,222	1,101	1,167	1,047	1,213	1,260	14,072

平成 26 年度実績

身体障害者 7,160 件 知的障害者 7,163 件 精神障害者 372 件 計 14,695 件

(5) 生活介護／入浴サービス延利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	65	52	69	67	55	61	61	62	61	55	63	66	737
知的障害	10	10	13	13	12	11	10	12	10	10	12	14	137
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	75	62	82	80	67	72	71	74	71	65	75	80	874

平成 26 年度実績

身体障害者 734 件 知的障害者 129 件 精神障害者 0 件 計 863 件

生活介護について

平成 27 年度当初は、2 名の学校卒業生が加わりスタートしました。他に平日で 2 名の方、週末利用で 4 名の方と新規の契約となりました。また週末利用者が利用日数を増やしたいご希望が

何件もあり、週末の契約数が増えました。職員体制については依然、ご利用者との配置で2:1を継続しました。

活動内容については、レクリエーションやリラクゼーションを継続、またリハビリテーションにつながる支援のほか、自主製品の受注作業、内職受託作業が工賃対象作業としてユニット定着しました。

週末の余暇プログラムについても定例化しており、全体契約者数 147 名内、週末のみのご利用者 65 名、平日と併用ご利用者 9 名を加えると約半数である状況は変わっていません。

送迎サービスは全体で、依然9割以上の方が利用、活動時間内の送迎にかかる時間も増えました。

入浴サービスについては、安全で安定した提供の確保を図る前提にて、ご利用件数を大きく変えることはできませんでした。

支援体制、ルーム間での担当支援スタッフの移動につきましては、スタッフの大規模な異動があり、ルーム長の変更や新規スタッフの配属など昨年度に比べるとフレッシュな体制によるルーム運営となりました。

平成 27 年度の利用実績は、年間計 10,531 件、平均 34.1 名と昨年度同等となりました。結果年度計画を下回り、下期のままで平成 28 年度を迎えると、実績をも下回る事が懸念されています。さらなる利用の拡充を図るため、地域に於ける施設特性を生かした社会的責任を、周知したうえで真摯に受け止め、ご利用を希望していただけるサービスの提供を、他事業とも連携を図りながら目指します。

■ ルーム別の活動について ■

(1) デイルーム1について

ルームご利用者では年度当初学校卒業生 1 名、重症心身の障がいがある方が加わり利用を開始されています。活動は ADL 的支援に加え、外気浴やウォーキング、リハビリテーション、リラクゼーションの提供を個別に行なわせていただくプログラムが定着しています。作業的取り組みについては活動機会を縮小していますが、油吸い取り具「すいすい君」の制作過程を中心に訓練として継続しています。レクリエーションについては、週単、月例と併せて実施。外出は 9 月にグランツリー武蔵小杉へ 2 月にはららぽーと海老名へ行き、ランチを楽しまれました。

(2) デイルーム2について

デイルーム4(以下D4)との合同にて、活動参加については選択性を続けています。活動内容は、自主製品の作成や園芸・お菓子作り、月間として運動プログラムも提供し、仕事として強く生

産性を求めるのではなく、ご利用者が楽しんでいただいた先の、継続的なご利用を目指した支援を続けています。外出企画については D4ユニットとの合同にて、春は「羽田空港」、秋は 10 月に「グランツリー武蔵小杉」へ観覧、散策を楽しんでいただきました。

(3) デイルーム3について

主に知的、精神、発達障がいの方、授産的な取り組みへの参加希望の方が対象で、新規利用者は「保土ヶ谷養護学校」卒業生 1 名と以前利用されていた方が転居により再契約されることになりました。

授産的な取り組みとしては「ガスメーターの解体」と「ボールペンの組み立て」を中心として作業を行う時間と、「ウォーキング」「誕生会」「ドライブ」などレクレーションや体力維持を中心とした活動を取り入れることでメリハリのあるプログラムを提供していました。

外出は 9 月、「電車とバスの博物館」「ズーラシア」へ、2 月は「横浜みなとみらい」へ、それぞれにて 3 グループに分かれて出掛けました。

(4) デイルーム4について

ご利用者はかわらず、知的、身体、精神の他、発達等に障がいのある方で、受注製品の生産等授産的な取り組みへの参加希望のある方が主たる対象となりました。

ルーム 2 (以下 D2) との連携にて、活動プログラムの併用が可能な状況で引き続き支援を行なわせていただきました。授産的な取り組みはかわらず、自主製品(デコパージュ石鹸・入浴剤等)の生産及び内職製品(ボールペン組み立て)の受託にて、安定した収益を確保が出来ました。外出企画は D2 と合同で実施しました。

(5) 週末余暇支援プログラム

利用対象者は、他施設や職場で授産・就労活動を行なっている方が多く、週末は社会参加等、個々のニーズに合わせ余暇的な活動プログラムの提供を行なっています。土曜は第 4 週まで、日曜は第 1、3 週のみ開館はかわらず、午前中は「お菓子」から「アートワーク」、午後には「ダンスワーク」「ボートローイング」「カラオケ」「DVD 鑑賞」に加えて「リラクゼーション」、第 2 土曜日については「音楽いっぱい」コンサートを定例開催しました。

障がいの多様化、重度化に対しましては、当日プログラムとして、引き続きリラクゼーション、レクリエーション枠の拡大による ADL 的支援の充実を図ってまいりました。

3 地域活動支援センターデイサービス型(以下デイ型)事業

(1) デイサービス型契約数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	増減
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	+2
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	2

平成 26 年度末 契約数 知的障害者 10 件

(2) デイ型曜日別契約数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

曜日別契約数	月	火	水	木	金	第一土曜	第二土曜	第三土曜	第四土曜	第一日曜	第三日曜	契約総数(週単)
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	7	7	5	5	6	0	0	1	0	2	1	34
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	7	5	5	6	0	0	1	0	2	1	34
26年度末契約数	月	火	水	木	金	第一土曜	第二土曜	第三土曜	第四土曜	第一日曜	第三日曜	総数(週単)
	6	6	5	5	7	0	0	1	0	1	1	32

(3) デイ型利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	115	101	126	121	104	103	132	110	123	112	128	140	1415
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	115	101	126	121	104	103	132	110	123	112	128	140	1415

平成 26 年度実績

身体障害者 0 件 知的障害者 1,349 件 精神障害者 0 件 計 1,349 件

地域活動支援センター(デイサービス型)について

活動は引き続き、主に清掃班と喫茶班に分かれたプログラムでした。8月に週末プログラムを利用される方が契約され、9月には週5日を目標とする方が契約を行いました。

活動プログラムは、清掃班は「ゆめ」館内及び周辺地域の公園及び車輛清掃に加えて、毎週月曜日、区立スポーツセンター館内の一部清掃活動、喫茶班は「ゆめ喫茶」として平日月～金曜での喫茶、ランチの食事提供を行ない、来客数を維持する事が出来ました。

5月には保土ヶ谷「花フェスタ」、7月には「ひかりの園」バザー、10月は「保土ヶ谷区民祭り」と「同愛会まんまるフェスタ」、さらに11月「鴨居祭り」と販売ブースを確保して、収益活動と併せて地域交流を図りました。「おもちゃ文庫」の企画行事には利用者もスタッフとして参加しました。

平成27年度も活動内にて、生活介護契約のご利用者について、施設内作業実習の受け入れを行ない、生活介護から就労支援のステップアップを図る目的としても、可能性を確認する機会とさせていただきました。

利用実績については月平均120件を下回り、年間目標人数に達することが出来ませんでした。平成28年度も引き続き、利用者の体調管理やメンタルサポートにより配慮して、安定的な利用確保を目指しました。

「ゆめ」の「地域活動支援センター(デイサービス型)」は、就業と社会参加機会提供の中間的役割を担いつつ、ご利用者が目的意識を持ってより充実した生活を営むことができるよう、寄り添う姿勢を持って活動支援を行いました。

4 生活支援(一時ケア、ショートステイ)事業

(1)一時ケア利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
～2時間	38	34	41	47	29	27	33	35	34	23	41	29	411
～4時間	60	47	54	49	35	48	45	33	47	31	29	46	524
～6時間	36	16	27	37	33	28	31	15	24	17	23	22	309
～8時間	23	8	11	27	31	12	14	19	21	16	15	26	223
～10時間	5	3	11	6	14	5	5	6	2	5	6	11	79
10時間～	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	2	7
18歳未満	122	72	89	116	92	74	80	67	86	58	71	88	1015
18歳以上	40	36	56	51	52	46	49	41	42	34	43	48	538
延べ件数	162	108	145	167	144	120	129	108	128	92	114	136	1553
延べ時間	549.5	301.5	476.5	565.0	623.0	394.0	430.0	361.5	410.5	315.0	373.5	535.5	5335.5
平均時間	3.4	2.8	3.3	3.4	4.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	3.9	3.4

平成 26 年度実績 述べ件数 1,773 件 (18 才未満 1,376 件、18 才以上 397 件)

述べ時間 6597.5 時間 平均利用時間 3.7 時間

(2)ショートステイ利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18歳以上	16	28	22	29	16	30	29	23	18	17	31	16	275
18歳未満	6	4	5	6	5	4	3	3	7	6	9	8	66
利用者数	22	32	27	35	21	34	32	26	25	23	40	24	341
連泊1泊	21	30	26	33	19	33	31	24	25	21	34	18	315
2泊	1	2	1	2	2	0	0	2	0	1	3	6	20
3泊	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
4泊以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
延べ泊数	23	34	28	37	23	36	34	28	25	27	54	30	379

平成 26 年度実績 利用者数 389 件 (18 才未満 88 件、18 才以上 301 件)

述べ泊数 429 泊/人

生活支援(一時ケア及びショートステイ事業)について

(1) 一時ケア

一時ケアは、平成 26 年度と比較して件数、総時間ともに減少しており、特に件数に関しては 3

年連続で減少しています。減少傾向が続いている理由としては、放課後等デイサービス事業所の増加に伴う、利用児童の増加が影響していると考えられます。

平成 27 年度の一時ケアで大きな特徴として挙げられるのが、男女比と年齢割合の変化です。男女比については、毎年男性の利用が多く、6 割前後ありましたが、平成 26 年度に初めて 7 割を超え、平成 27 年度は 79.1%に増えました。

また、年齢割合ですが、18 歳以上の方の利用が、平成 24 年度までは 20%未満で推移していましたが、平成 25 年度に初めて 20%を超え、平成 27 年度は 34.6%(538 件)と、18 歳以上の方の割合、件数ともに過去最高となりました。増加している理由としては、成人期の方の作業所等が休みの日の利用が多くなっていることが挙げられます。中でも重度の知的障害の方の予約申し込みが多く、ご家族で対応するのが難しくなっているケースも見受けられました。その他に、児童期に放課後等デイサービスを利用されていた方が、成人期になり放課後等デイサービス利用時よりも帰宅時間が早くなるため一時ケアを利用している方もいました。

- ・居住区別…保土ヶ谷区 83.4%、旭区 4.6%、戸塚区 3.6%等
(平成 26 年度 保土ヶ谷区 82.1%、戸塚区 5.0%、旭区 4.1%等)
- ・男女比…男性 79.1%、女性 20.9% (平成 26 年度 男性 71.7%、女性 28.3%)
- ・年齢割合…18 歳以下 65.4%、18 歳以上 34.6%
(平成 26 年度 18 歳以下 77.6%、18 歳以上 22.4%)

(2) ショートステイ

ショートステイは延べ泊数 379 泊で、平成 26 年度と比べマイナス 48 泊となりました。その中でも、ショートステイが必要な方へお声かけをして利用していただいた方が、延べ泊数の 25.9%にあたる 98 泊でした。

平成 26 年度よりも少なくなってしまった理由としては、男女の職員が泊まれる日をあまり増やすことができなかったこと、障害特性で対応が難しい方の利用日に、他の方が利用しづらくなってしまったこと等が挙げられます。

平成 28 年度も利用される方の障害特性に配慮して受け入れていくことは勿論のこと、少しでも今までの実績を上回れるよう、利用しやすい体制づくり等にも努めていきます。

- ・居住区別…保土ヶ谷区 76.2%、西区 7.0%、旭区 4.7%等
(平成 26 年度 保土ヶ谷区 73.5%、旭区 6.7%、西区 5.4%等)
- ・男女比…男性 68.6%、女性 31.4% (平成 26 年度 男性 60.2%、女性 39.8%)
- ・年齢割合…18 歳以上 80.6%、18 歳以下 19.4%
(平成 26 年度 18 歳以上 77.4%、18 歳以下 22.6%)

5 おもちゃ文庫事業

おもちゃ文庫利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	22	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	244
児童	135	56	191	93	101	72	94	81	67	68	92	86	1,136
保護者	108	43	146	85	80	63	81	68	52	57	81	76	940
その他(児童)	57	28	37	105	114	47	27	24	48	53	30	80	650
その他(保護者)	34	22	26	65	76	28	19	18	29	37	21	45	420
計	334	149	400	348	371	210	221	191	196	215	224	287	3,146

平成 26 年度実績

日数 242 日、児童 1,337 人、保護者 1,042 人、その他児童 417 人、その他保護者 278 人

計 3,074 件

平成 27 年度は、企画を 5 回行いました。4 月の後半に「こいのぼりを作ろう！同じく7月の後半に「おもちゃ文庫ミニプールで水遊び」(3日間)、10月には、「リトミック」、12月には「クリスマス会」、3月には「紙コップでひな人形をつくろう」などを行い、毎回 10 組程度参加されました。

企画の中では定例化しているものもあり、企画前から「いつやるの」と問い合わせがありました。

また、おもちゃ文庫の清掃にデイ型利用者が行き、利用者から「いつもきれいですね」と言われる事もありました。

利用状況は平成 26 年度と比較して微増になりました。

6 地域交流事業

(1) 地域交流室貸出利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用件数	51	60	61	87	55	60	59	56	55	61	95	72	772
利用者数	283	309	334	437	228	281	309	256	254	266	481	324	3,762

平成 26 年度実績 利用件数 806 件 利用者数 4,043 人

(2) 地域交流行事参加実績

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

地域イベント・バザーなどへの参加状況			
日時	場 所	内 容・説 明	備 考
5 月	ほどがやへそ公園	ほどがや花フェスタ	スーパーボールすくい
7 月	ひかりの園	ひかりの園夏まつり	自主製品販売
10 月	保土ヶ谷公園	ほどがや区民祭り	スーパーボールすくい
	てらん広場	まんまるフェスタ	スーパーボールすくい
12 月	活動ホームゆめ	クリスマスコンサート	音楽会(ロックコンサート)
1 月	活動ホームゆめ	初夢まつり	餅つき・バザー
3 月	天王町商店街	復興支援バザー	スーパーボールすくい

地域交流室貸し出しでは、平成 26 年度を下回る利用となりました。

地域交流行事参加では、平成 26 年度に引き続き、近隣施設などのバザーに出店しました。ゆめのデイサービス型の活動として、ご利用者の方にも参加して頂きました。

また「初夢まつり」は 9 回目と定例化して、近隣の方にも知られてきて多くの方が参加されました。イベントは内容を大きくして来場者にどの時間帯も楽しめるものとなりました。地域の福祉施設等からの出店参加もありました。

7 余暇活動及びフレンドサポート事業(区づくり事業)事業

(1)余暇活動利用実績

(平成28年3月31日現在)

余暇活動支援内容			
日時	場 所	対象	利用人数
H27.5/10(日)	J1 サッカー『横浜Fマリノス vs 新潟』日産スタジアム	成人	3名
5/24(日)	プロ野球『横浜 DeNA vs 阪神』横浜スタジアム	成人	4名
6/14(日)	多摩動物公園①	児童	5名
6/28(日)	多摩動物公園②	児童	5名
7/12(日)	ソニー・エクスプローラサイエンス①	児童	4名
7/26(日)	ソニー・エクスプローラサイエンス②	児童	4名
8/6(木)	ゆめであいましょう2015夏①	児童	5名
8/7(金)	ゆめであいましょう2015夏②	児童	5名
9/13(日)	八景島シーパラダイス①	成人	5名
9/27(日)	八景島シーパラダイス②	成人	5名
10/11(日)	ハロウィンパーティー①	児童	6名
10/31(土)	ハロウィンパーティー②	児童	6名
11/8(日)	バーベキュー①	児童	5名
11/29(日)	バーベキュー②	児童	5名
12/13(日)	クリスマス会	児童	5名
12/13(日)	クリスマス会	成人	5名
H28.2/11(木・祝)	日本科学未来館①	成人	4名
2/28(日)	日本科学未来館②	成人	5名
3/29(火)	ゆめであいましょう2016春①	児童	4名
3/30(水)	ゆめであいましょう2016春②	児童	5名
計	20回		95名

平成26年度実績 計20回実施、参加者数100名

(2)フレンドサポート(ダンスワーク)利用実績

(平成28年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日コース	5	5	4	5	4	4	4	4	3	5	4	5	52

休日コース	8	8	8	8	4	6	7	7	7	7	7	8	85
利用総数	13	13	12	13	8	10	11	11	10	12	11	13	137

平成 26 年度実績 平日コース 12 回 87 名、休日コース 12 回 71 名 計 158 名

(2) みんなであそぼう、音楽いっぱい！利用実績 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用数	10	7	7	8	10	10	7	6	10	9	5	11	100

平成 26 年度実績 82 名

余暇活動及びフレンドサポート事業

(1) 余暇活動事業について

平成 27 年度は、児童企画 13 回、成人企画 7 回、計 20 回の活動を実施しました。

見学、体験ものを中心に、ゆめを会場にしたハロウィンパーティー、クリスマス会、恒例の『ゆめであいましょう』等、様々な企画を行いました。

中でも、バーベキューの企画では、余暇活動では初めて親子での参加も可能ということで行いました。参加して下さった親御さんが率先して調理の手伝いをしてくださったり、他の参加者や職員と話をしたりと、普段とは一味違う活動ができて良かったです。

また、ハロウィンパーティーでは、手作りした衣装を着てビジネスパーク周辺を散策したりと、恥ずかしながらも楽しい時間を過ごすことができました。

ボランティアについては、『ゆめであいましょう』、『ハロウィンパーティー』、『クリスマス会』を中心に高校生、専門学校生、大学生、社会人の方々に参加していただくことができました。学生の方に関しては、近年、単位取得等のための参加も多くなってきました。なかなか継続的に参加していただくまでは難しいですが、障害児者、福祉のことを知っていただく機会になればと思っています。平成 28 年度も参加された方へのお誘いや、ホームページ、ボランティアセンター、学校等への案内を継続して行っていきます。

(2) 保土ヶ谷区学齢障がい児フレンドサポート事業について

1. ゆめであそぼう(ダンスワーク)

平成 17 年度より継続して行ってきた『ダンスワーク』ですが、平成 27 年度の参加児童を募集した際、平日コースの応募が例年に比べて少ない状況がありました。明確な理由とは言い切れませんが、一時ケア利用の減少同様に、放課後等デイサービス事業所の増加に伴う、利用児童の

増加が影響していると思われます。

そのため、平成 28 年度は、毎月第 3 水曜日に行っていた平日コースを、土曜日に変更して行うことにしました。第 3 日曜日に行っていた休日コースはそのまま継続し、平成 28 年度は土曜日コース、日曜日コースとして行っていきます。

平成 27 年度 参加児童の学校別内訳…保土ヶ谷養護学校 4 名、上菅田特別支援学校 4 名、横国附属特別支援学校 2 名、権太坂小学校 2 名、三ツ境養護学校、桜台小学校各 1 名。

2. みんなであそぼう！音楽いっぱい

平成 25 年度下半期よりスタートした企画で、週末の日中活動で音楽プログラムを行っていただいてる講師の方に依頼し、季節ごとの歌を歌ったり、ハンドベルや鈴等の楽器の演奏を行ったりしました。前述のダンスワークよりも、身障児童の参加が多いことも特徴として挙げられます。身障の方は、音楽を聞いて声を出して喜んだり、手を叩いたり、年度の最後の回では、高校 2 年生の参加者(知的障害)に得意のギターを演奏していただいたりと、参加者それぞれの表現の仕方で楽しまれていました。

平成 27 年度 参加児童学校内訳…保土ヶ谷養護学校 4 名、上菅田特別支援学校 4 名、上星川小学校、帷子小学校、保土ヶ谷小学校、桜台小学校各 1 名。

■保土ヶ谷区学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会■

(1)主な参加者

保土ヶ谷区福祉保健センター、上菅田特別支援学校、保土ヶ谷養護学校、
区社会福祉協議会、あひるの会、ほどがや希望の家、ダンスワーク講師、
保土ヶ谷区内各地域ケアプラザ、ほどがや地域活動ホームゆめ等

(2)主な議題

保土ヶ谷区障がい児フレンドサポート事業 予算及び取り組み状況
学校関係者等との情報交換 他

(3)開催状況：

第 1 回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成 27 年 5 月 20 日(水)
第 2 回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成 27 年 9 月 2 日(水)
第 3 回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成 27 年 12 月 16 日(水)
第 4 回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成 28 年 2 月 17 日(水)

8 (法人型)地域活動ホーム自主事業

養護学校間等送迎事業(保土ヶ谷養護学校便等)

(平成28年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児童数	63	49	51	44	9	50	55	39	49	24	34	37	504
保土ヶ谷養護学校	17	10	15	10	1	18	17	12	17	8	12	9	146
上菅田特別支援学校	32	22	20	23	6	18	20	12	15	11	19	24	222
その他(個別支援級)	14	17	16	11	2	14	18	15	17	5	3	4	136

平成26年度実績

保土ヶ谷養護学校 224人、上菅田特別支援学校 280人、その他 94人、利用児童数 598人

平成27年度の送迎回数は、平成26年度と比較すると、約16%減の504人で3年連続で減少となりました。(平成24年度932人、平成25年度684人)

減少している理由としては、学校間等送迎の利用が一時ケア利用と直結するため、一時ケアの減少同様、放課後等デイサービス事業所の増加による、利用児童の減少が影響していると思われれます。

保土ヶ谷養護学校、上菅田特別支援学校の送迎が減少している中、個別支援級の送迎の増加傾向が続きました。(平成26年度の約1.4倍)

個別支援級の送迎が増加している理由としては、保土ヶ谷養護学校、上菅田特別支援学校の送迎が減少していることで、迎えに行く体制が取りやすくなったことも挙げられます。

一時ケア総数に占める学校間送迎の割合は、平成26年度と変わらず約34%でした。

9 放課後等デイサービス

(1) ゆめっこくらぶ

月別利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約人数	23	23	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	294
契約のべ人数	210	181	224	230	200	200	226	204	200	206	212	234	2527
利用人数	187	167	205	210	156	180	201	186	193	166	172	213	2236
送迎回数	119	115	157	103	7	139	144	137	125	100	122	124	1392
欠席率(%)	10.9	7.7	8.4	7.6	22	10	11	8.8	3.5	19.4	18.8	8.9	11.4

平成 26 年度実績

契約のべ人数 2423 人 利用人数 2114 人 送迎回数 1354 回 欠席率 12.8%

「ゆめっこくらぶ」について

平成 27 年度の利用実績(2236 人)は 26 年度(2114 人)と比較して 122 名の増、契約のべ人数は 104 名の増、それ以外の部分は 26 年度と比例し殆ど増減はなく横ばいで推移した 1 年になりました。利用人数・契約のべ人数共に増加傾向にあり、合計の数字だけで判断をすると概ね良好な 1 年でした。27 年度の 1 日の実利用人員は平均 7.7 名で目標として 1 日平均 8 名を上げていたのでそれには至らなかったわけですが、至らなかった原因として考えられる事としては 1 月・2 月のインフルエンザでの欠席、土曜日の利用人数が平日の半分以下であった 2 点が大きな要因と考えられます。28 年度以降は土曜日の契約数を増やすことを検討していかなくてはならないと感じました。また 27 年度は新規利用の小学生 3 名と契約に至りましたが、まだ変わらず中学生～高校生が契約人数の 72%を占めていて、28 年度は 3 名中学生に進学することから更にその割合が大きくなってしまい 28 年度以降はより一層小学生の受け入れを積極的に行っていく必要があると感じました。

ゆめっことしてのインフルエンザ対応ですが、発熱翌日から 5 日・解熱後 3 日、所属クラスが学級閉鎖になった際にはお休みをしていただいて、学校またはまっこふれあいスクールに順ずる対応をした事によりゆめっこくらぶでインフルエンザが蔓延してしまうことはありませんでした。平成 28 年度も事業所内で流行り病が蔓延してしまわないように、職員の健康管理を含めて正しい対応を行なっています。

2)ゆめっことつか

月別利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約人数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
契約のべ人数	243	217	251	254	229	221	250	221	220	221	230	254	2811
のべ利用人数	233	197	215	233	191	212	198	197	209	197	175	223	2480
送迎回数	290	261	293	228	102	288	266	268	267	226	246	241	2976
欠席率(%)	4.1	9.2	14.3	8.3	16.6	4.1	20.8	10.9	5.0	10.9	23.9	12.0	11.8

平成 26 年度実績

契約のべ人数 2775 人 利用人数 2460 人 送迎回数 2964 回 欠席率 11.4%

「ゆめっことつか」について

平成 27 年度の利用実績は、26 年度と比較してほぼ変化のない 20 名増となりました。延べ契約数は 35 名の増でしたが休日の兼ね合いなどで、若干契約数が増えた程度で欠席率も変化はなく 11.4%から 11.8%に変わった程度でした。27 年度の特徴としてはインフルエンザが原因での欠席が多く特に 2 月が特筆すべきものとなりました。23.9%という高いパーセンテージは実際インフルエンザに罹った人もさることながら保土ヶ谷養護学校が学年閉鎖と云う対応をとったことが原因でこのような大きなものとなりました。数字的な大きさよりも周囲の放課後等デイサービスが取った対応やご家族の考え方、現在の障害児を取り巻く環境を顕著に映し出した出来事がありました。本来、学校がインフルエンザを原因としてその学年を閉鎖にしているのにはそれなりに意味合いがあるはずですがご家族は学校が閉鎖にすると朝から放課後等デイサービスに預け、当法人がその閉鎖学年をお受けしないと別の放課後等デイサービスを利用する等と云う形を取って預ける対応をご家族は行なっていました。1月に始まったインフルエンザによる欠席は 3 月まで今年度は続きました。実際にゆめっことつかの利用者でインフルエンザに罹って欠席をした利用者は 1 月 3 名・2 月 9 名・3 月 4 名でした。3 か月間をまたいでインフルエンザが原因で欠席が見られましたが実際は 1 か月半で収束しました。1 か月半も掛ってしまったり例年より多数の児童が掛ってしまったのも子どもたちを取り巻く環境やご家族が置かれている状況が原因と思われる。学校が学年閉鎖を取る理由も考えずに受け止めてしまう事業所、それに対して何も言えない行政等が原因のように思われます。ご家族の就労問題は別として家庭では受け止めきれない児童が増えてきている現状に対しては本人に関わる人たちがきちんと家族と向き合って話をしながら家庭での過ごしを考えていく時期になったともいえます。3 月末に横浜市主催の放デイ対象の集団指導がありその際に放デイのあり方について話がありました。これを機に社会の問題としてではなく、ゆめっこの問題として本来の地域支援のあり方について事業所間で話し合っていく良い機会になればと思いました。

欠席理由の中で、実習 24 件 部活 32 件 修学旅行 10 件弱等高校生を筆頭に高学年になったことで休む機会が年々増加しました。平成 28 年度は、この様な理由での欠席を減らすことは難しいが部活の後の預かりについては今度検討していきたいと考えています。

余暇については 26 年度から活動ホームゆめのショートステイの居室を利用し、宿泊体験を行なってきました。28 年 5 月を最後にとりあえず全ての方(希望者)が1回行なえる形となる予定です。月に 1 回程度開催という形態で行なってきましたが、休みの調整が難しいなど色々なことがあり 1 年半以上かかってしまいました。放デイでは見られない一面が多く見られ、成果はありましたが、平成 28 年度においては新小学 1 年生が 4 名入る為小さな子供たちにも合った企画をとっています。

3)ゆめキッズほどがや

月別利用実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約人数	34	36	36	37	37	35	38	38	38	38	38	38	-
契約のべ人数	184	179	189	196	163	178	178	178	174	174	183	201	2177
利用人数	162	146	168	167	135	159	153	147	144	137	147	177	1842
送迎回数	290	266	310	300	232	304	288	271	270	250	276	322	3379
欠席率(%)	12.0	18.4	11.1	14.8	17.2	10.7	14.0	17.4	17.2	21.3	19.7	11.9	15.4

ゆめキッズ平成 26 年度実績

契約のべ人数 2198 人 利用人数 1937 人 送迎回数 3636 回 欠席率 11.9%

「ゆめキッズほどがや」について

平成 27 年度は著しく欠席率が高くなってしまった。欠席率が 14%以上になってしまった月が昨年度は 2 か月に留まっていたが今年度は 8 か月と云う半分以上の結果になってしまったことが通年を通して大きな数字となってしまった原因と云えます。欠席の要因としてはご利用者の情緒面や家庭背景から安定した利用に結びつけることが出来なかったことが主となり、学校行事や体調不良による長期の欠席も原因の一端と考えられます。

平成 27 年度をもって解約に至った方は 4 名でそのうち卒業された方が 2 名、引っ越しによる解約が 1 名、キッズの対応において利用が難しくなってしまった方が 1 名となりました。その他に年度途中、学校終了後の放課後利用ではあまりにも事業所での活動時間が短すぎるという理由で別の事業所に変更と云うケースが 2 名いました。

活動内容としては概ね例年通り行ない、祝日外出については特に大型連休が 2 回あったこともあり、他事業所から応援勤務をしてもらう事や企画内容を軽量化するなどしてなるべく例年通り行えるように調整を図って実施しました。

平成 28 年度については欠席率の改善が急務と考えています。そのためご家庭との連携やご利用者の状態把握に努め、事業所として何が出来るかを考えながらただ単に家族の都合に合わせるのではなく「本人」にとって「家族」にとって有意義な物と感じてもらえる事で安定した利用に繋げられる様に関わっていきたくと考えています。また家庭背景や母の就労によって長期休暇の時間帯に乗れず欠席をされる方々も同様に、もう一度ご家庭と話をして本人と家族に合ったサービスを別のサービスも視野に入れながら検討していきたくと考えています。

10 移動支援(ガイドヘルプ)事業

(1) 月別利用契約者数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体障害	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
知的障害	53	53	54	54	54	54	54	55	55	55	55	55	651
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	61	62	62	62	62	62	63	63	63	63	63	747

平成 26 年度実績 身体 104 件 知的 644 件 精神 0 件 契約数計 744 件

(2) 月別利用人数、障害種別内訳(重複含む)

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	5	6	4	5	5	7	6	7	6	7	6	8	72
知的障害	48	43	48	48	44	47	47	46	49	47	46	50	563
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	53	49	52	53	49	54	53	53	55	54	52	58	635

平成 26 年度実績 身体 77 件 知的 538 件 精神 0 件 利用件計 615 件

(3) 月別ガイドヘルパー派遣実績

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用総件数	101	91	105	110	95	109	112	106	104	103	112	134	1282
二人付派遣	4	5	3	5	4	4	5	2	5	5	2	3	47
通所支援	15	17	18	20	17	18	21	16	16	15	17	19	209
総派遣数	105	96	108	115	99	113	117	108	109	108	114	137	1329
述べ時間数	394.5	350.5	401.5	424.5	388.5	413.5	418.5	397.5	425.5	405.5	413	468.5	4901.5

平成 26 年度実績 利用件数 1083 件 延べ時間 4335.5 時間

移動支援(ガイドヘルプ)事業について

活動総時間数は昨年で比べると 113%、平均時間数は 408.5 時間と月によってばらつきはあるものの、1か月ほぼ 400 時間を安定して超えるようになりました。利用時間や回数の提案、ニーズに合わせた活動を心がけた結果、目標にしていた合計 4769 時間(昨年対比 110%)に届きました。今後引き続き、キャンセル数を減らしていくことを行ってまいります。登録ヘルパーや新規へ

ルパーの情報の共有化として、毎月行うヘルパー会(第 4 土曜日)にご利用者の「振り返り」や「活動時の気づき」などヘルパーが発表を行うことにより、現状と今後の課題や方向性などを話し合うようにしました。平成 28 年度も続けていくことで、ご利用者の把握やニーズにあったガイド(移動介護)を行っていきます。また新規ヘルパーの確保も引き続き行います。

11 災害備蓄事業(防災避難訓練)

防災関連実施状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	日時	場所	内容	備考
第1回 消防避難訓練	H27年 7月1日(水) 13時30分～14時40分	「ゆめ」館内 (1F～3F) 「ゆめ」「ゆめあん」「ゆめっこらぶ」 「ゆめっことつか」対象	(1)火災通報訓練 (2)夜間宿直避難訓練 (3)消火訓練	
	H27年 9月29日(火) 16時00分～16時15分	「ゆめキッズほ도가や」 パレットビル1階+歩道	地震想定避難訓練	
第2回 消防避難訓練	H28年 1月27日(水) 13時20分～14時30分	「ゆめ」館内+神戸町第二公園 「ゆめ」「ゆめあん」 「ゆめっこらぶ」 「ゆめっことつか」 「ゆめキッズほ도가や」 対象	(1)火災通報訓練 (2)日中全体避難訓練 (3)消火器操作訓練 (4)煙トンネル体験 (5)消防署員からの講評 他	

災害備蓄・消防避難訓練について

平成 27 年度は、「ゆめ」以外の外部事業所「ゆめあん」「ゆめっこらぶ」「ゆめキッズほ도가や」「ゆめっことつか」について合同で、2 回の防災避難訓練を計画通りに行なうことができました。

12 運営委員会事業

運営委員会開催状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	日時	場所	内容 ※(案)は省略	備考
第34回 運営委員会	5月 27日(水)	ほどがや地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 平成26年度事業活動報告 2. 各委員との情報交換ほか	
第35回 運営委員会	10月 28日(水)	ほどがや地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 27年度上半期活動報告 2. 満足度調査結果報告 2. 各委員との情報交換ほか	
第36回 運営委員会	3月 23日(水)	ほどがや地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 平成28年度事業計画 2. 各委員との情報交換ほか	

20 人の運営委員により事業報告や活動状況・情報交換が行われている。毎回事務局として保土ヶ谷区福祉保健センターより職員の参加があり行政説明も行われた。

13 社会福祉法人ほどがや理事会・評議員会

理事会・評議員会開催状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	日時	場所	内容 ※(案)は省略	備考
第41回評議員会 第56回理事会	5月21日(木)	ほどがや地域活動ホーム ゆめ	1. 平成26年度事業報告の件 2. 平成26年度決算の件 3. 監事監査報告の件	
第42回評議員会 第57回理事会	11月19日 (木)	ほどがや地域活動ホーム ゆめ	1 平成27年度上半期事業報告の件 2 平成27年度上半期決算報告の件 3 平成27年度補正予算の件 4 理事選任・同意の件 その他の件	
第43回評議員会 第58回理事会	2月18日(木)	ほどがや地域活動ホーム ゆめ	1 平成28年度事業計画の件 2 平成28年度予算の件 3 平成27年度第2次補正予算の件 4 定款変更の件 5 理事選任・同意の件	

			6 監事選任・同意の件 7 評議委員選任の件(理事会) 8 社会福祉法人指導監査結果報告の件
第58回理事会	2月26日(金)	ほ도가や地域活動ホーム ゆめ	1 理事長選任の件

理事会は6名の役員・監事2名で構成される。評議員会は13名の委員で構成される。それぞれ3回開催され、いずれの審議案件も承認された。

14 横浜市障害者後見的支援事業ほ도가やゆめあん

問い合わせ登録状況

(平成28年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
問い合わせ	310	316	321	325	328	328	332	333	335	337	337	339
登録	136	138	138	141	141	141	141	142	142	145	145	146
支援計画	116	118	119	122	125	127	127	127	130	133	133	135
キーパー	193	193	194	194	192	192	192	194	195	194	194	194

※ 月別累計で計上

現在の登録者123名の方についてはその障害種別として、知的 58名・肢体 13名・精神 28名・重複 18名・重心3名・発達障害 1名・手帳なし2名となりました。年齢構成は、20代=22名 30代=29名 40代=36名 50代=29名 60代=7名となり、60代の方以外は大きなかたよりがなくなりました。男女比は、およそ男性6割、女性4割にて、その暮らしに関して、同居=89名 GH=24名 単身=10名にて、7割以上の方がご家族との同居にて在宅生活を送られている方でした。活動先としては、通所7割、在宅2割、就労1割でした。

延べでは145名の登録者のうち、休止の方が3名となり、昨年度は転居された方が3名、他区在住にて登録を移管された方が4名、登録希望を取り止めた方が2名、亡くなられた方が1名おり、計10名、以前の方と併せて20名の方が登録を終了されました。また登録には至っていませんが年度内、継続的な面談にて関わらせていただいた方は19名になりました。

あんしんキーパーの登録者は193名になりました。地域のキーパーとして68名、支援関係の

キーパーが125名です。団体としての登録は40団体となっています。キーパー登録者うち7割の方、利用登録者は6割の方の担当者配置がある、というのが現状です。

制度の広報・周知につきましては、年間を通して28回、支援施設、当事者団体、家族会、関係者団体、地域ケアプラザほか、「ゆめあん」事業所主催行事も機会として、活動を行なってきました。

平成27年度は、「事務職員(実質担当職員)」及び「管理者(施設長)」の退職に加えて、推進法人から出向している「あんしんマネジャー」の交代が続き、休職中の「あんしんサポーター」の退職もありました。さらに年度末には4名のサポーターが退職、担当職員も交代と、6年目を迎えた事業所も職員メンバーが大幅に入れ替わり、事業内容の独立性と関係の継続性が問われながらも、あらたにチームサポートを見直す機会になりました。

制度における事業所状況につきましては、今年2月、あらたに青葉区・港南区に後見的支援室が開設され、全区18区内16区に事業所が整備されました。



発行日 平成28年5月19日

編集者 社会福祉法人ほどがや

ほどがや地域活動ホームゆめ 事務局

〒240-0005 保土ヶ谷区神戸町140-2

TEL045-340-3360 ファクス 045-334-0462

E-mail:yume@e-hodogaya.org